

科目名	資格対策講座1							年度	2025
英語科目名	Certification Exams 1							学期	通年
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	柿崎光		教員の実務経験	有	実務経験の職種		アーティスト活動、マネジメント		
【科目の目的】 学科が推奨するビジネス分野の検定試験に合格する程度の知識を取得する。検定対策で得た知識を、1年生前期の学習に活かす視座を養う。日本社会の動向に興味を持ち、1年生後期に向けて将来の社会人としてのビジョンを築く。									
【科目の概要】 学科に関連する資格に対して集中的な対策講座を開催します。									
【到達目標】 A. 当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の検定試験に合格する程度の知見を取得する。 B. 検定対策として学んだ知識を、1年生前期の学習の場に活かす視座を得る。 C. 日本社会の動向に関心を持ち、1年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の検定試験に合格する程度の知見を取得する		当学科が推奨するビジネス分野 1 種類の検定試験範囲の知見を取得する				到達目標Aについてさらなる努力が必要		
到達目標 B	検定対策として学んだ知識を、1年生前期の学習の場に活かす視座を得る		検定対策として学んだ知識を、説明することができる				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 C	日本社会の動向に関心を持ち、1年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ		1年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ				到達目標Cについてさらなる努力が必要		
【教科書】 一般社団法人職業教育・キャリア教育財団監修『ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、出席・参加態度（30%）、授業内での確認問題（30%）、筆記試験（40%）									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		資格対策講座1			年度	2025
英語表記		Certification Exams 1			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第一課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 資格対策とは	授業対象資格の意義がわかる	3	
			2 課題発表	第一課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
2	第一課題 実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8	第二課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
			2 課題発表	第二課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
9	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15	総合復習	復習の実践	1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3 資格取得の可能性	授業対象資格を取得することへの可能性を知る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等